

2025年10月20日

## 公開質問状④

松山市長 野志克仁 様

熱海土石流原因究明プロジェクトチーム  
○○○-○○○○-○○○○  
shimizu@cim-tech.jp

拝啓 初秋の候、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたびは、2025年10月10日付でご回答いただきました公開質問状につきまして、誠にありがとうございます。ご多忙のところご対応いただきましたことに、改めて御礼申し上げます。

さて、令和7年2月24日説明会資料 P.17 に記載の「排水施設の照査」について、内容の一部に不明な点がございましたので、下記のとおり確認させていただきます。

### 【確認事項】

#### 1. 流域面積の相違について

設計値では流域面積 423 m<sup>2</sup>とされていますが、照査時には 1155.9 m<sup>2</sup>となっております。

設計報告書では道路部分のみを流域として計上されていましたが、上流からの流入を考慮していなかった、という理解でよろしいでしょうか。

#### 2. 降雨確率年について

設計では3年確率を採用していることを確認しておりますが、照査では10年確率で検討されています。

この変更の理由、または適用された基準についてご教示ください。

#### 3. 最大降雨強度について

最大降雨強度が 273.5mm/h とされていますが、非常に大きな値と考えられます。

この値の出典、もしくは算定根拠をお示しください。

排水施設の照査

項目	単位	道路構造令及び道路上工		
		設計値	照査値	判定
流域面積	m <sup>2</sup>	423	1155.9	
流出係数		0.85	0.78	
降雨確率年	年	3	10	
最大降雨強度	mm/h	90	273.5	
最大雨水流出量	m <sup>3</sup> /s	0.009	0.068	
縦断水路		判定条件：雨水流出量≤流下可能量		
最大流下可能量	m <sup>3</sup> /s	0.557	0.423	ok
安全率				
横断水路		判定条件：雨水流出量≤流下可能量		
最大流下可能量	m <sup>3</sup> /s	0.117	0.089	ok
安全率				

※1

※2

※3

令和 7 年 2 月 24 日説明会資料 P.17 抜粋

記

以下の点につきまして明示いただきたく公開質問状として提出させて頂きます。

ご質問

4-1 流域面積について、設計時に過少であったという理解でよろしいでしょうか。

4-2 10年確率で照査されているのは、下水道部局での降雨強度式を参照した等、「道路上工要領」以外の基準を適用された為でしょうか。

4-3 最大降雨強度 273.5mm/h の出典についてご教示ください。

公開の扱い

本質問状およびご回答内容につきましては、地域住民の安全・安心に資するため、適切に公開させていただきます。

回答期限：誠に恐縮ではございますが、2025年10月24日までにご回答を賜りますようお願い申し上げます。

以上、ご多忙のところ誠に恐れ入りますが、住民にとって重要な関心事でございますので、明確なご回答を賜りますようお願い申し上げます。

敬具